

豊明市地域包括ケア連絡協議会

代表者会議

〔委員〕 名古屋大学医学部附属病院教授、東名古屋医師会副会長、東名古屋豊明市医師会代表、藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センター、社会福祉協議会長、民生児童委員連絡協議会長、シルバー人材センター会長、区長連合会代表、ボランティア代表  
〔オブザーバー〕 瀬戸保健所、県医療福祉計画課、国立長寿医療研究センターなど  
〔事務局〕 高齢者福祉課、包括支援センター

ICT医療福祉連携部会

いきいき笑顔ネットワーク  
運営委員会

〔委員〕  
東名古屋豊明市医師会代表  
名古屋大学医学部附属病院教授  
東名古屋豊明市医師会長  
東名古屋豊明市医師会代表  
愛豊歯科医師会豊明支部長  
愛豊歯科医師会豊明副支部長  
日進東郷豊明薬剤師会長  
豊明市薬剤師会長  
藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センター  
訪問看護ステーション  
〔オブザーバー〕  
名古屋大学医学部附属病院  
先端医療・臨床支援研究センター  
瀬戸保健所など  
〔事務局〕  
高齢者福祉課、包括支援センター

入退院  
調整部会

〔委員〕  
東名古屋豊明市医師会代表  
藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センター  
訪問看護ステーション  
藤田保健衛生大学病院退院連携調整室  
豊明老人保健施設  
〔オブザーバー〕  
瀬戸保健所など  
〔事務局〕  
高齢者福祉課、包括支援センター

見守り生活  
支援部会

〔委員〕  
社会福祉協議会長  
民生児童委員連絡協議会長  
シルバー人材センター会長  
区長連合会代表  
ボランティア代表  
〔オブザーバー〕  
瀬戸保健所など  
〔事務局〕  
高齢者福祉課、包括支援センター

■ 今後、地域ケア会議などから見えてくる地域課題により、必要な部会を設置できるように運営していくことが課題。

# 豊明市モデル地区(北部地区 豊明団地)の地域包括ケア推進組織



現在、構築準備中!!



# 地域の課題と解決策

### 取り組みを進める中で見えてきたこと 今後の取り組みの中で大切にしたいPoint

#### 市民啓発/市民との意識共有

- 走りながら考えることの必要性。計画を踏襲したスケジュールリングも重要だが、各種取り組みを行っている、潜在していた社会資源や情報が集まってくる。
- 取り組みをわかりやすく関係機関や市民に周知することにより、地域の「強み」が集まる仕組みに。
- 体制的・因習的・習慣的な課題は、長期的な対策を必要とする。まずは啓発から。
- 市民にとってインセンティブがあると感じられる取り組みであること。



- ◆ 市民を巻き込んだ取り組みに向けて、市民啓発と意識共有の取り組み強化

#### 現場主義/実践からのPDCA

- 各種ツールの活用も事例（個別・地域）があつてこそ、洗練された活用につながる。
- 事業・制度の実施も必要性があつてこそ。
- 制度改正や理想的な概念を伝えるだけでは、多忙な医療福祉関係者のアクションにはつながらない。
- 現状に困っている、切実な市民の要望、具体的な行政の現状こそ、医療福祉関係者との相互理解とモチベーションにつながる。



- ◆ 事例（個別・地域）の支援場面、その都度に研修やツール、構築事業が活かされるために
- ◆ 地域ケア会議からの課題ボトムアップの重要性



## **26年度前半の振り返りと改善策**

### ロードマップに基づく進捗状況について

- 6/30 中間発表会以降の取り組み状況について → この後のスライドでご紹介。
- 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修事業を開始

### 26年度後半の取り組み推進について

■以下の事項にも留意し、取り組み推進していく。

- 医療・介護一体改革法や新たな財政支援基金制度等の制度改正とシンクロした推進。
- 豊明市第6期高齢者福祉・介護保険事業計画への反映。
- 地域ケア会議の取り組み強化。
- 市民啓発の強化。



# けやきいきいきプロジェクトの取り組み Section 1

## 個別支援事例から

## Nさん 認知症でも、本人が望む自宅での独居生活を継続するための支援

### ■ 本人概要

79歳 男性Nさん 1人暮らし  
認知症 要介護1  
〔サービス利用状況〕  
・デイケア（6回／週）－ Yクリニック  
・配食サービス（7日／夕食）

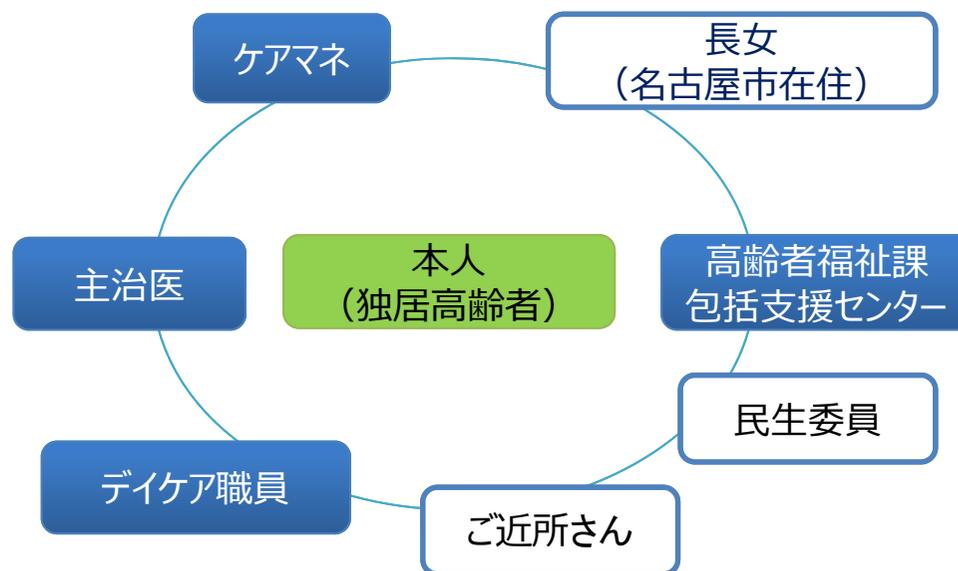
### ■ 支援者

長女（名古屋市在住、必要時支援）  
主治医、デイケア職員、ケアマネ  
地区民生委員（隣の家）、ご近所さん

### ■ 本人・家族の希望

本人：1人暮らしでも心配なく愛犬との生活を続けていきたい

家族：介護サービスなどの必要な支援を利用しつつ、健康管理をしながら交流の場へも参加し楽しく過ごしてほしい。



### ■ 経緯

妻は8年前に他界。その後1人暮らし。  
H25.2頃、かかりつけ医より、血圧の薬を処方中にも関わらず一向に症状改善しないことから服薬できていない（薬を放置していた）ことが発覚。認知症が疑われ、介護保険導入に至った。

## Nさん 認知症でも、本人が望む自宅での独居生活を継続するための支援

時期	H26.6 地域ケア会議
本人の 状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状態安定</li> <li>・デイケアには「仕事に行っている」つもりで通所はじめた</li> </ul>
支援 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援チーム間の円滑な情報共有</li> <li>・24時間のソフトな見守り</li> <li>・生活支援</li> </ul>
導入と なった 支援	<p><b>介護保険サービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デイケア</li> </ul> <p><b>高齢者福祉サービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配食サービス</li> </ul> <p><b>インフォーマルサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デイケア送迎時の支援</li> <li>・近所の見守り</li> </ul> <p><b>在宅医療福祉連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT「いきいき笑顔ネットワーク」の活用</li> <li>・見守りセンサーの活用検討</li> </ul>
事例 の 反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネ連絡会への情報提供</li> <li>・民生委員打合せの活性化提案</li> <li>・ICT部会／定例MTでの事業検討</li> </ul>



## Nさん 認知症でも、本人が望む自宅での独居生活を継続するための支援

時期	H26.7 地域ケア会議(家族も参加)
本人の 状態	・地域の活動にも時々参加
課題 支援	・家族の不安の軽減 (生活支援、転倒、徘徊への不安)
導入と なった 支援	<b>地域包括ケア</b> ・定期的な家族を含む 地域ケア会議の開催  <b>在宅医療福祉連携</b> ・見守りセンサーの活用
事例 の反 映	・ICT部会での見守り サポート事業検討



### 家族の声

- ・主治医・デイケア職員⇔ケアマネ⇔行政（手続き関係）⇔家族による連絡事項等が、本人を介すると忘れてしまっていたりうまく伝わらないことがあるため、確実に行いたい
- ・見守りサポート事業(見守りセンサー)の導入により、本人の生活見守りを強化したい

# Nさん 認知症でも、本人が望む自宅での独居生活を継続するための支援

時期	H26.8~9
本人の状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調不良による栄養状態の悪化</li> <li>・鍵をなくしたことで近所とのトラブル</li> <li>・室内での転倒によるケガ</li> </ul>
支援課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の不安増大への対応</li> <li>・地域の認知症への理解</li> <li>・食生活管理・薬剤管理と生活支援の連携</li> </ul>



登録情報の変更はこちら 性別：男 年齢：79

記事の抽出・絞り込みパネル

記載日

10月 2014年

日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

担当者/グループ

山田彰 ( Dr : やまだクリニック )

矢野真由美 ( Phn : 豊明市役所 )

長沼その子 ( Cm : 介護生活用品の専 )

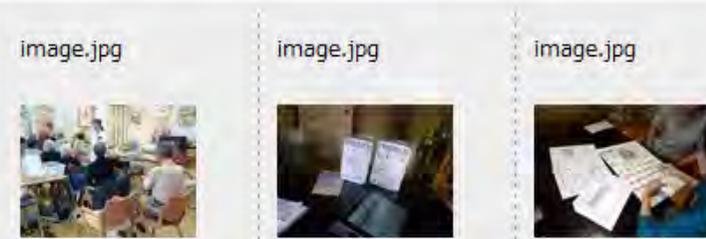
近藤有紀子 ( Phn : 豊明市役所 )

文書タグ

各位  
本日  
関係  
中木  
写真  
情報  
今日  
ipa

今後とも、よろしくお願いします。

- 1枚目 デイでの様子
- 2枚目 薬の工夫
- 3枚目 カレンダーの利用(関係者で書き込みする用)



いきいき笑顔ネットワークと見守りセンサーを活用した「見守りサポート事業」

**目的**

- 1 独居高齢者の孤独死・孤立死予防
- 2 緊急事態への早期発見・早期対応
- 3 高齢者の健康づくり

**取組み内容**

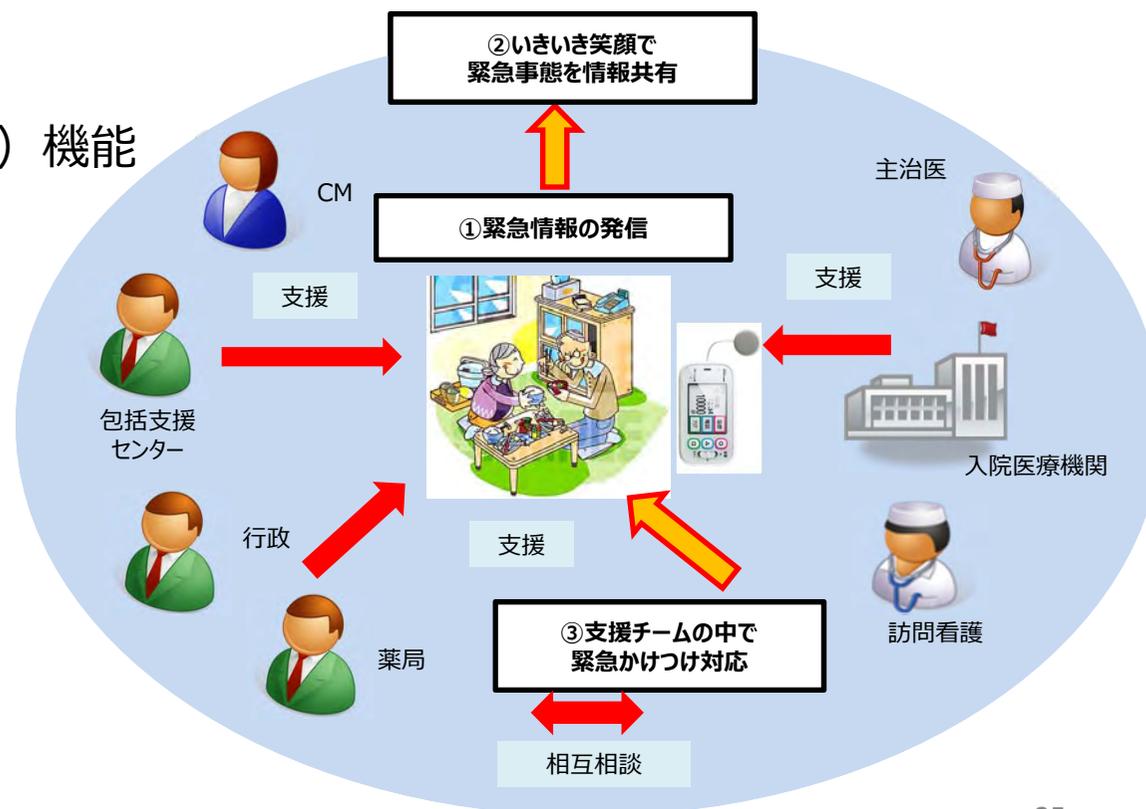
- 1 - 見守りセンサー（人感センサー）機能
- 2 - 緊急センサー機能
- 3 - 万歩計機能

**対象者** 合計400名

- ・いきいき笑顔ネットワーク登録者
- ・市内独居高齢者



見守り用センサー「Mi-Look」



「見守りサポート事業」による Nさんの生活状況の把握

患者情報 中木屋房信(ノカキヤブシ) 性別: 男 年齢: 79才 (1935-02-19生)

登録情報の変更はこちら

記事の抽出・絞り込みパネル

記載日 解除

日	月	火	水	木	金
28	29	30	1	2	3
4					
5	6	7	8	9	10
11					
12	13	14	15	16	17
18					
19	20	21	22	23	24
25					
26	27	28	29	30	31
1					

担当者/グループ 編集 解除

山田彰 (Dr : やまだクリニック)

矢野真由美 (Phn : 豊明市役所)

貝沼その子 (Cm : 介護生活用品の専)

日時 2014/10/7 8:28

センサー情報

◇10/7

- 08 ○ 5回以上
- 07 ○ 46回
- 06 ○ 63回
- 05 ○ 3回
- 04 ○ 3回
- 03 ○ 2回
- 02 × 0回
- 01 × 0回
- 00 × 0回

◇10/6

- 23 ○ 2回
- 22 × 0回
- 21 × 0回
- 20 × 0回
- 19 × 0回
- 18 × 0回
- 17 ○ 17回
- 16 ○ 13回
- 15 ○ 34回
- 14 × 0回
- 13 × 0回
- 12 × 0回
- 11 × 0回
- 10 × 0回
- 09 ○ 25回
- 08 ○ 51回

・朝、犬の散歩 (近所の見守り)  
 ・朝食 (関係者で検討、火の危険あり  
 →電磁調理器申請中)

睡眠

・夕方、犬の散歩 (近所の見守り)  
 ・夕食+飲酒 (配食サービス)

・送迎時、生活 (食事、服薬等) 見守り  
 ・デイケア参加

## Nさん 認知症でも、本人が望む自宅での独居生活を継続するための支援

時期	H26.10 地域ケア会議
本人の 状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した生活を送る</li> </ul>
支援 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の認知症への理解</li> <li>・食生活管理・薬剤管理と生活支援の連携</li> <li>・認知症に関する医療福祉関係者の知識向上と連携強化</li> <li>・家族も巻き込んだチーム支援体制づくり</li> </ul>
支援 となった 導入	<p><b>地域包括ケア</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な家族・民生委員を含む地域ケア会議の開催</li> </ul> <p><b>高齢者福祉サービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅改修</li> <li>・電磁調理器購入の補助</li> </ul>
事例 からの 反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種協働による在宅チーム支援を担う人材育成研修事業への認知症メニュー提案</li> </ul>



### Nさん支援から見た今後の地域課題

- 家族と支援チームとの情報共有体制の確立
- 薬剤師・栄養士の在宅支援
- 地域の認知症への理解